

平成25年度 宮津市6月補正予算の概要

会 計		補正前予算額	補正予算額	計	対 前 年 同 期 比	
					伸 率	H24 6月補正後
		千円	千円	千円	%	千円
一 般 会 計		10,455,801	31,500	10,487,301	△3.2	10,835,299
特別 会計	土 地 建 物 造 成 事 業	53,796	152,855	206,651	△21.2	262,326
	そ の 他	7,189,678		7,189,678	△1.3	7,285,421
	計	7,243,474	152,855	7,396,329	△2.0	7,547,747
水 道 事 業 会 計		616,613		616,613	△1.2	624,041
合 計		18,315,888	184,355	18,500,243	△2.7	19,007,087

< 6月補正予算の概要 >

■一般会計：国の内示等を受け、早期着手が必要な事業、また、地域のコミュニティ活動の充実・強化事業等について、約3千2百万円の追加補正を行うもの。

また、街路灯等のLED照明リプレイスに係る約1億5百万円の債務負担行為を設定するもの。

■特別会計：土地建物造成事業特別会計において、約1億5千3百万円の繰上充用措置を行うもの。

平成25年度宮津市6月補正予算(案) 主要事業の概要

■ 市民協働によるまちづくりをさらに進めるための追加計上等を行う補正予算 ■

◆国の内示やコミュニティ助成事業の採択に伴い、早期に事業着手する必要がある事業、また、地域のコミュニティ活動の充実・強化につながる事業等に、約3千2百万円を追加補正するとともに、街路灯等のLED照明リプレイスに係る約1億5百万円の債務負担行為を設定するもの。
 ◆土地建物造成事業特別会計において、約1億5千3百万円の繰上充用措置を行うもの。

<「みやびビジョン2011」を本格化(基本施策・市民との協働)>

(単位:千円)

区分	事業名	予算額	財源内訳		事業の概要	平成25年度 既決予算額	部局名	説明資料	
			特定財源	一般財源					
■ 環境保全と生活環境の向上									
新規	街路灯等LED化事業 <H25~H35債務負担行為の設定>	104,500 (限度額)	諸	7,686	96,814	◆10年リース方式で市内全域において街路灯等をLED照明にリプレイスするもの ※灯具交換工事リース料に係る10年間債務の設定		自立循環室	1
■ 教育の充実と人材育成									
新規	地域の芸能環境づくり事業	1,900	諸	1,900	0	◆「青島広志のおしゃべりクラシック2013」開催補助金(市民実践活動センター) ※コミュニティ助成事業の採択		教育委員会	2
新規	公民館活動連携推進事業	1,400	国	1,400	0	◆公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラムの展開(上宮津地区) ※国の内示		教育委員会	3
■ 暮らしの基盤の整備									
充実	消防団運営事業	1,000	諸	1,000	0	◆消防団への防火服の配備(30枚) ※コミュニティ助成事業の採択	当初 4,448	企画総務室	4

(単位:千円)

区分	事業名	予算額	財源内訳		事業の概要	平成25年度 既決予算額	部局名	説明資料	
			特定財源	一般財源					
■ 市民との協働									
充 実	コミュニティ助成事業 (協働のまちづくり事業)	9,500	諸	9,500	0	◆コミュニティ活動への支援 (由良宮本・滝馬・大垣・天橋自治会) ※コミュニティ助成事業の採択	当初 5,000	企画総務室	5
新 規	コミュニティセンター助成事業	9,800	諸	9,800	0	◆コミュニティセンター建設への助成 (つつじが丘自治会) ※コミュニティ助成事業の採択		企画総務室	6
新 規	地域一体型除雪事業	6,400	諸 市債	2,500 3,900	0	◆小型除雪機5台の購入 (地域一体型除雪体制の拡充) ※コミュニティ助成事業の採択(2台分)		建設室	7
充 実	海の京都・天橋立まちづくり プロジェクト					◆海の京都・天橋立まちづくりプロジェクト の推進	当初 16,194	—	—
	充 実 海の京都・天橋立まちづくり事業	2,000	府	1,500	500	◆天橋立まちづくり計画策定への追加支援 ※「海の京都」の動きに連動	当初 1,000	建設室	8

<翌年度歳入の繰上充用を行うもの(地方自治法施行令第166条の2)>

(単位:千円)

区分	事業名	予算額	財源内訳		事業の概要	平成25年度 既決予算額	部局名	説明資料	
			特定財源	一般財源					
	<土地建物造成事業特別会計>	152,855		152,855	0	◆24年度収支が赤字のため、25年度歳入を 24年度の歳入不足に充当	当初 53,796	財務室 建設室	—

事業名	街路灯等LED化事業(債務負担行為)		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略		104,500 (限度額)				7,686	96,814
					特 定 財 源 の 内 訳				
					諸	街路灯等LED化事業自治会負担金			7,686
補正理由	国の緊急経済対策補正予算「地球温暖化対策推進事業費補助金(小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業)」を活用した街路灯等のLED化について、調査等を行い、灯具交換工事等を進めようとするもの。			(参考)補正後予算額					
				-					
目 的 目 標	街路灯等をLED照明にリプレイス等を行うことで、地球温暖化の防止と地域経済の活性化に資する。 また、みやづ環の地域づくり行動計画(省エネ、循環、創エネ、自然共生)の取組を進める。			背 景 経 緯	平成22年度 宮津市クリーンエネルギーの利活用調査(防犯灯のLED化と代替電源の利用など) 電気料金の値上げ(H25.5~)				
事業概要	市内全域における街路灯等のLED照明へのリプレイス等(総事業費:104,500千円) 債務負担行為の設定 限度額:104,500千円 期間:平成25年度~平成35年度			期待される効果	CO2排出量約130,970kg-CO2/年の削減 削減電力量×0.450kg-CO2/kwh(2011関西電力(株)CO2排出係数) 低炭素型のまちづくり 維持管理費(電気代及びメンテナンス費用)軽減分の有効活用 LEDの高い省エネ性と長寿命性による光熱費の軽減 蛍光灯の交換など防犯灯の維持管理費の軽減				
	街路灯等のLED照明へのリプレイス及び新設予定基数 ・リプレイス対象の街路灯等:3,911基(灯数の増減あり) 宮津市:道路照明灯38基、公園照明灯140基、防犯灯90基 自治会管理:防犯灯3,643基 ・新設予定の防犯灯等:210基 宮津市新規予定:10基、自治会新規予定:200基				【みやづビジョン2011以外の計画】				
	リプレイス及び新設に係る宮津市負担リース料金(維持管理費含む) 10年間で104,500千円(見込み)			24 年度策定	みやづ環の地域づくり行動計画 (第2期宮津市地球温暖化防止計画)			計 画 期 間	32 年度まで
	自治会負担分 7,686千円(見込み) H26で予算化 リプレイス分 7,286千円(3,643基×2,000円/灯) 新設見込分 400千円(200基×2,000円/灯)			年度策定					年度まで
	【スケジュール(予定)】 H25.6~H25.7 灯具調査及び導入計画の策定 H25.8~H25.9 リース事業者の選定、契約 H25.9~H26.2 灯具交換及び新設工事 H26.4~H36.3 リース料金支払(10年間) 今回の事業は宮津市と京丹後市の共同事業			年度策定					年度まで
	【参考】宮津市は市管理分と自治会管理分をLED化 京丹後市は市管理分のみ(道路照明灯160基、公園照明灯220基、防犯灯1,810基) 小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業の概要 LED照明導入に必要な経費のうち、取付工事に要する経費の1/4を国が補助			【市民参加の状況】					
			【先進性】						
			担当室・係	自立循環室 産業創出係		TEL	45-1608		

(単位:千円)

事業名	地域の芸能環境づくり事業 (「青島広志のおしゃべりクラシック2013」開催支援)		新規	補正予算額	財源内訳				
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		1,900				1,900	
					特定財源の内訳				
					諸	コミュニティ助成金			1,900
補正理由	平成25年度コミュニティ助成事業((財) 自治総合センター) の採択に伴うもの			(参考) 補正後予算額					
				1,900					
目的 ・ 目標	文化・芸術に触れることの少ない当地域において、青島広志氏のトークや大阪交響楽団の生演奏を体感し、クラシック音楽を身近に感じることで、文化の振興を図る。また、大阪交響楽団が地元中学生に対して演奏指導を行うことにより、スキルアップ、音楽への関心を高める。			背景 ・ 経緯	毎年、「音楽フェスティバル」や「合唱発表会」など音楽に親しむイベントが行われているが、実際に、プロの生の音楽を体感する機会は少なく、近年は、年に1回、宝くじ文化公演事業によりプロの演奏家による演奏会を開催している。				
事業概要	(公財) 宮津市民実践活動センターが行う文化事業への支援			期待される 効果	著名な楽団の指導による子どもたちのやる気を伸ばす環境づくり 優れた音楽者の育成 音楽による市民の文化振興				
	事業名称	青島広志のおしゃべりクラシック2013			【みやづビジョン2011以外の計画】				
	開催日	平成25年12月15日(日)		年度策定		計画期間	年度まで		
	開催場所	宮津会館		年度策定		年度まで			
入場料	一般3,000円、会員2,500円、高校生以下1,500円(予定)		年度策定		年度まで				
実施主体	公益財団法人宮津市民実践活動センター		【市民参加の状況】						
内容(予定)	7月 大阪交響楽団による宮津中学校吹奏楽部への音楽指導 12月 クリスマスコンサート(7月に音楽指導を受けた中学生との共演)		近年の文化公演 H23.7 宝くじ文化公演「京都市交響楽団特別演奏会」入場者 511人 H24.10 宝くじ文化公演「シ・ナイト・オーケストラ演奏会」入場者 443人						
出演者	青島広志(指揮、トーク)		【先進性】						
	《題名のない音楽界》や《世界一受けたい授業》などテレビでもおなじみの音楽家で、クラシックの演奏はもとよりトークにより誰にでも分かりやすい手法で楽しませてくれる音楽家。								
	大阪交響楽団								
	大阪を拠点に活躍する楽団であり、良質な演奏を提供でき、青島広志氏との演奏会を多数開催。								
			担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642					

(単位:千円)

事業名	公民館活動連携推進事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略		1,400	1,400				
補正理由	国の委託事業(公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム)の内示等に伴うもの		(参考)補正後予算額		特 定 財 源 の 内 訳				
					国	社会教育活性化支援プログラム委託金		1,400	
目 的 ・ 目 標	地区公民館では、従来から住民の求めに応じた生涯学習に取り組んでいる。今回、これに加えて、上宮津地区公民館と上宮津地域会議、上宮津自治連合会が協働し、京都府立大学及び京都大学の協力を得て地域課題である防災問題に取り組み、公民館活動のさらなる活性化を図る。		背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 各地区で行われる公民館活動と地域会議の事業は、ほぼ同じ方針で実施されている。 こうした中で、上宮津地区公民館から地域会議、連合自治会との協働、大学連携による事業展開の申し出があった。 					
事業概要	公民館を中心とした地域連携・協働による社会教育活性化モデル事業の展開 事業名 マイ防災マップ作りとコミュニティ強化の村づくり 事業期間 平成25年7月から平成26年3月まで 実施場所 上宮津地区 実施主体 上宮津地区公民館 運営：上宮津地域会議及び上宮津自治連合会との協働 協力：京都府立大学及び京都大学		期待される効果	独自の自主避難体制の構築による災害時の安心安全の確立 地域住民の防災意識の高揚 他団体との協働事業として、他地区の公民館活動に反映。					
	実施内容 ・地域と学生との協働による現地調査 ・住民参加による手作り上宮津防災マップの作成 ・講演会 ・ドキュメント防災DVDの作成 など			【みやづビジョン2011以外の計画】					
	実施スケジュール 7月 住民防災情報アンケート、講演会、DVD作成開始 8月 学生による現地調査、広報誌発刊 9月～ ワークショップによる収集データ整理 10月 講演会、DVD上映会 12月 モデルマップ作成、モデルマップの住民検証 1月 広報誌発刊 3月 マイ防災マップ完成			年度策定 年度策定 年度策定					
				【市民参加の状況】 H24上宮津地区公民館等の事業 公民館事業 10事業(参加延904人)、子どものびのび体験活動事業 2事業(参加延87人)、健康広場 5事業(参加延114人)					
		【先進性】							
		担当室・係 教育委員会事務局総括室 社会教育係 TEL 45-1642							

(単位:千円)

事業名	消防団運営事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略		1,000				1,000	
					特 定 財 源 の 内 訳				
					諸	コミュニティ助成金			1,000
補正理由	平成25年度コミュニティ助成事業((財)自治総合センター)の採択に伴うもの			(参考)補正後予算額					
				5,448					
目 的 目 標	初期消火活動に従事する消防団員の防火服を計画的に配備し、消火体制の強化を図る。			背 景 経 緯	放水要員分は配備済、放水予備要員分を計画的に追加配備。				
事業概要	消防団への防火服の配備 ・計画配備数122着を年間おおむね30着ずつ4年間で補充配備 30着 1,000千円 H23~26年度(4カ年)で実施予定			期待される 効果	消防団員の安全確保				
	〔補充配備の実績・計画〕			【みやづビジョン2011以外の計画】					
	H23実績 28着			年度策定		計 画 期 間	年度まで		
	H24実績 34着			年度策定			年度まで		
	H25計画 30着			年度策定			年度まで		
	H26計画 30着			【市民参加の状況】					
			【先進性】						
担当室・係				企画総務室 消防防災係		TEL		45-1605	

(単位:千円)

事業名	コミュニティ助成事業(協働のまちづくり事業)		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策		ビジョン重点戦略		9,500				9,500	
					特 定 財 源 の 内 訳				
					諸	コミュニティ助成金			9,500
補正理由	平成25年度コミュニティ助成事業((財)自治総合センター)の採択に伴うもの			(参考)補正後予算額					
				14,500					
目 的 目 標	自治会の活動等を支援することにより、コミュニティの健全な発展を図る。			背 景 経 緯					
事業概要	コミュニティ助成 9,500千円 由良宮本自治会(祭用備品整備) 助成額2,200千円(事業費2,277千円) 芸屋台等の修繕を支援 滝馬自治会(遊具整備) 助成額2,500千円(事業費2,502千円) ブランコ・シーソー等の整備を支援 大垣自治会(祭用備品整備) 助成額2,500千円(事業費2,500千円) 獅子頭、太鼓等の整備を支援 天橋自治会(祭用備品整備) 助成額2,300千円(事業費2,331千円) 櫓の整備を支援 <参考> コミュニティ助成 財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、全国の市町村を通じて自治会等のまちづくり活動を支援するもの。 一般コミュニティ助成事業 補助率10/10 補助限度額2,500千円			期待される効果	コミュニティ活動を支援することで、地域力の再生・強化が図られ、もって適切な地域環境の維持発展が期待できる。				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定		計画期間	年度まで		
				年度策定		計画期間	年度まで		
				年度策定		計画期間	年度まで		
			【市民参加の状況】	各自治会ともコミュニティ活動に多くの市民が参加					
			【先進性】						
			担当室・係	企画総務室 企画係	TEL	45-1601			

(単位:千円)

事業名	コミュニティセンター助成事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策		ビジョン 重点戦略		9,800				9,800		
					特 定 財 源 の 内 訳					
					諸	コミュニティ助成金			9,800	
補正理由	平成25年度コミュニティ助成事業（(財)自治総合センター）の採択に伴うもの			(参考)補正後予算額						
				9,800						
目 的 目 標	住民の行う自主的なコミュニティ活動を積極的に推進し、その健全な発展を図るため、コミュニティセンター（つつじが丘自治会集会所）の建設整備に対して支援するとともに、つつじが丘団地の定住環境の整備につなげる。			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・つつじが丘団地は、平成15年1月に造成工事が完了 ・平成14年11月から分譲を開始 ・平成16年4月、17世帯で「つつじが丘自治会」が設立（現在55世帯） ・近隣自治会に集会所を借りながら、自治会コミュニティ活動を展開中 ・活動拠点となる集会所の建設整備が望まれていたもの 					
事業概要	コミュニティセンター助成事業補助金 9,800千円(つつじが丘自治会) 建設場所 つつじが丘団地わんぱく公園内 整備事業費 16,340千円 ・建設工事費 15,960千円 ・備品購入費 380千円 助成費 16,340千円×6/10 9,800千円			期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士が気軽に集える場が確保でき、積極的なコミュニティ活動の推進が期待できる。 ・定住環境の充実が図られ、つつじが丘団地の販売促進の条件整備の強化が図られる。 					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定		計 画 期 間	年度まで			
				年度策定			年度まで			
				年度策定			年度まで			
			【市民参加の状況】							
			【先進性】							
			担当室・係	企画総務室 行政係			TEL	45-1602		

(単位:千円)

事業名	地域一体型除雪事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策		ビジョン 重点戦略		6,400			3,900	2,500	
補正理由	平成25年度コミュニティ助成事業((財)自治総合センター)の採択を踏まえ、地域と一体となった除雪事業を推進していくもの		(参考)補正後予算額	6,400	特 定 財 源 の 内 訳				
					諸	コミュニティ助成金		2,500	
					市債	過疎対策事業債		3,900	
目 的 目 標	除雪路線ではない道路や狭隘な道路について、市民協働による除雪を実施しており、小型除雪機を追加購入し、自治会等に貸与し除雪体制の充実を図る。			背 景 経 緯	除雪路線は、市道を基本としている中で、除雪路線ではない道路や狭隘な道路については、自治会に協力を求め市民協働により対応している。昨年は少なかったものの、近年は大雪が続き、小型除雪機の貸与要望が増えている。				
事業概要	小型除雪機購入 6,400千円 購入台数5台(コミュニティ助成事業分2台) 現在29台の小型除雪機を自治会に貸与し市民協働による除雪を実施			期待される 効果	冬季の市道の交通確保				
				【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定		計 画 期 間	年度まで		
				年度策定			年度まで		
	年度策定		年度まで						
			【市民参加の状況】 除雪車通過後の自宅前除雪や自治会の小型除雪機による除雪など						
			【先進性】						
			担当室・係	建設室 建設管理係		TEL	45 - 1628		

事業名	海の京都・天橋立まちづくりプロジェクトの推進 (海の京都・天橋立まちづくり事業)		充実	補正予算額	財 源 内 訳														
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源										
ビジョン 基本施策		ビジョン 重点戦略		2,000		1,500			500										
補正理由	「海の京都」構想の具現化に向け始動した地域活動が活発化する中、景観整備等に関する地域計画の策定に加えて、気運が高まるまちづくりの取組に支援を行うもの。			(参考)補正後予算額	特 定 財 源 の 内 訳														
				3,000	府	市町村未来づくり交付金			1,500										
目 的 目 標	文珠地区のまちづくりについて、地域のコンセンサスを形成しながら、住民主導で計画づくりを行い、「海の京都」構想はもとより、将来のまちづくりにつながるよう、活動を支援する。			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年 文珠まちづくり協議会設立 平成20年11月 天橋立周辺景観計画施行 平成21年3月 文珠地区景観まちづくり計画策定 平成23年度 天橋立の景観をより良くし、人に優しい町を作る運動実施 平成24年6月 まちなみ整備委員会設立 平成25年3月 「海の京都」構想策定 平成25年3月 文珠町づくり委員会設立 														
事業概要	海の京都・天橋立まちづくり事業に係る追加支援2,000千円			期待される 効果	地域主導の計画策定と事業実施がなされていくことで、取組を実現していく住民自らが愛し、誇れるまちづくりにつながる。														
	文珠町づくり委員会活動助成 「海の京都」構想の戦略拠点である天橋立において、統一感のある景観整備や観光関連施設のリニューアルを進め、魅力ある観光拠点としての整備を図り、地域経済の活性化と持続可能な地域づくりに係る支援を行う。 今回の追加補正は、当初予算で計上した基本的なまちづくり指針策定への支援1,000千円に、しっかりと住民のコンセンサスを形成しながら、実現性の高い、さらに踏み込んだ計画とするために必要となる追加支援2,000千円を計上するもの。				【みやづビジョン2011以外の計画】														
	[内容] 文珠町づくり委員会が行う「文珠まちづくり計画(仮称)」策定への追加支援(住民のコンセンサス形成のためのイメージパース、図面などデザイン委託等)				<table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td rowspan="3">計 画 期 間</td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>年度まで</td> </tr> </table>					年度策定		計 画 期 間	年度まで	年度策定		年度まで	年度策定		年度まで
	年度策定				計 画 期 間	年度まで													
年度策定		年度まで																	
年度策定		年度まで																	
[文珠町づくり委員会の概要] 平成25年3月設立。文珠自治会や文珠繁栄会などで構成。 文珠まちづくり協議会やまちなみ整備委員会での活動を継続、融合し、地区全域のまちづくりを検討している。		【市民参加の状況】 「海の京都」構想の具現化と相まって、文珠地区の課題解決に向けたまちづくりの気運が高まっている。																	
		【先進性】																	
		担当室・係			建設室 まち景観係	TEL	45-1630												